| 学校番号 | ３０４ |
|---|---|

# 令和３年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書道Ⅰ　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書写の授業で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学び、自分なりの表現方法で作品を制作し、表現に対する理解を深めていく。
・楷書から篆隷行草に至るまで様々な書体を体験し、筆の特性を使いこなし、自己表現としての作品を書くことが出来るようになることをめざす。
・身近に飾れる作品を作ることで書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

４　学習の活動

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4 | 書写から書道へ | 1 書写と芸術科書道<br>2 用具・用材<br>3 姿勢・執筆法 | ○ | ○ | ○ | ○ | a：書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b：用具・用材の特徴を踏まえ、表現の工夫を考えている。<br>c：姿勢や執筆法の基本を身に付け表現に応じた姿勢・執筆法を選択しようとしている。<br>d：正しく整った文字のよさや美しさを感じ取り、用具用材と基本的な姿姿勢・執筆法が果たす役割を幅広く理解している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5<br><br><br>

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8<br><br><br>

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | に創作参考作品を鑑賞し、その美やよさについて積極的に意見交換をしている | |
| 11 | 仮名の書 | 仮名の成立<br>　仮名の種類<br>　仮名の美<br><br>単体<br><br>連綿<br><br>変体仮名<br><br>全体構成<br><br>行書き<br>　散らし書き | ○ | ○ | | ○ | a:基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解し、表現技法の基礎・基本を身に付け、仮名の書の書写能力の向上に努めている。<br>b:古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し、仮名の伝統的な書の美に対する感性を働かせて、仮名による表現を構想し表現を工夫している。<br>c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆の関係を理解し、仮名の美の特質を知り、その技法を身に付け表している。<br>d:意図に基づく表現を構想し、工夫している。<br>仮名の書の伝統と文化について関心を持ち、そのよさや美しさについて幅広く理解し感じ取っている。 | 提出作品<br>ワークシート<br>ポートフォリオ |
| 12 | 仮名の書 | 臨書と鑑賞 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:古筆の美とその技法に関心を持ち、意図的・主体的に仮名の美を味わおうとしている。<br>b:古筆の持つ伝統的な美を生かし、感受し、表現を構想し普遍性のある表現を工夫している。<br>c:各古筆の用筆・運筆・字形の取り方を学び、それぞれの書風の違いに注意をして臨書をして創造的な技法を身に付け表現している。<br>d:日本の書の伝統と文化について幅広く理解している。 | 提出作品<br>ワークシート<br>ポートフォリオ |
| 1 | 漢字仮名交じりの書 | 表現<br>　いろいろな線 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:線質、漢字と仮名の調和、用具用材や紙面構成と表現との関係に関心を持ち、意欲的・主体的に表現を高めよう | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>ポートフォリオ |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | | 線質<br><br>用具用材<br><br>紙面構成<br><br>古典の基づく創作 | | | | | としている。<br>b:用具・用材の特性を生かし、線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。<br>c:用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、漢字と仮名の調和を図る技能を身に付け表している。<br>芸術的な表現や、実用的な表現を理解している。<br>d:多様な線質の表現、線質の調和による美、紙面構成による表現の違いなどを理解し書の良さや美を感じ取っている。<br>日本及び中国の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。 | |

※　表中の観点について　　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
　　c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。